

海のまちづくりに取り組む「海事都市尾道推進協議会」

海事都市尾道推進協議会は海のまちづくりに取り組んでいる。どのような取組みを行っているか、2012年度の事業を紹介する。今年度は「海フェスタおのみち」開催にあわせた記念企画が多く行われた。

夏の海事学習会



海から造船所を見学し、船の大きさに驚く子どもたち

「夏休み自由課題サポートクルーズ」

7月24日、小学生とその保護者を招待して客船で向島、因島、瀬戸田など周辺を巡るクルージングを実施。「海フェスタおのみち」期間中のため、広島市、福山市、三原市の子どもにも参加を呼びかけた。66人が参加。船から見える造船所や遺跡、城跡など学んだ。

「ボートふしぎ発見」

船は、なぜ浮くか、船の形でなぜスピードが変わるのかなどについて、水槽や模型を使い、わかりやすく説明。船に対する感心を高めることができた。7月15～16日、尾道市民センターむかいしまココロで開催。158人が参加した。



船長にはたくさん質問が出た

「船長 海と船を語る」

7月21日、日本船長協会から船長経験者を講師として招き、海や船に関する話を聞く。若年層への海への関心の醸成や、一般市民における海事都市としての意識の向上など図った。参加者からは「どこの国が印象に残ったか」「船内の食事はおいしいのか」など質問が多く出た。



講師のユーモアで分かりやすい説明や問いかけに、子どもたちは夢中

海洋スポーツ体験学習



楽しみながらロープワークを学ぶ

尾道マリン・ユース・センターで「海フェスタおのみち」期間中の7月22日、「海洋スポーツ体験学習会」を実施した。市民61人が参加し、カヌー、バナナボート、ロープワーク、手旗信号を体験。

しまなみ歴史・文化講座・洋上セミナー



ブリッジで制帽を被り、双眼鏡を覗くと船員の気分



洋上セミナーで講師の話に耳を傾ける

海事都市について青少年の理解を深めることを目的に、郷土の歴史、文化を学ぶ教養講座を、フェリーでしまなみ海道の島々などめぐりながら洋上セミナーとして実施した。7月1日、市民135人が参加。大崎下島（御手洗）まで行き、御手洗では潮待ち館や乙女座など見学した。

「海と暮らす尾道の人々…(渡船の今昔)」



尾道商業会議所記念館での展示のようす

海とともに発展してきた尾道に象徴される、市民の生活航路である渡船に焦点をしぼり、すでに廃航となった渡船も含めて紹介した。

尾道商業会議所記念館では4月20日～8月8日開催。市内の渡船は、市内の造船所で建造されたフェリーを運航しているところが多く、フェリーができるまでの工程もパネル展示し、海事都市尾道をPR。フェリーに取り付けられた物品やペーパークラフトなども展示した。

尾道市営中央駐車場1階物産エリア（因島）および瀬戸田港では、6月26日～8月6日に展示。瀬戸田港では、NPOせとだ港房の協力を得て、瀬戸田地区で今までに建造された船舶の写真を併設展示した。



因島での展示のようす



瀬戸田での展示のようす

「海事都市尾道～海をめぐる歴史と文化～」

おのみち街かど文化館で7月13日～8月5日に展示。尾道の海に関する歴史・文化について、市民および全国からの訪問者に対し、広く情報発信することにより、より一層の海事思想の啓発を図った。展示したのは①開港みなと尾道②「道ゆきぶり」に見る尾道浦の風景③遣明船と尾道港④村上水軍⑤北前船で賑わうみなと尾道⑥瀬戸田海運と椋浦廻船⑦造船のまち尾道⑧出船入船零れ話（花街余話）⑨海事人物伝—など。期間中2624人が来館した。



おのみち街かど文化館の展示のようす